

ミャンマー慰霊巡拝の旅8日間 ～学校訪問とマンダレー高僧寺院訪問～

旅行期日:2019年 2月7日(木)～14日(木)

旅行費用:348,000円 (仙台空港発着)



勇兵団慰霊碑



オカラツパ「平和記念碑」



寄贈小学校での交流



マンダレーヒルの夕景

旅行主催:株式会社ワールドトラベル

ミャンマー慰霊の旅 8日間

日程	月日	都市名	時間	交通	スケジュール			
1	2019年 2月7日 (木)	仙台空港 成田空港 成田空港 ヤンゴン	7:45 8:40 13:50 18:45	NH3232 NH813 専用車	国内線にて成田空港へ 着後、出国手続きを経て 空路、ミャンマー最大の経済都市ヤンゴンへ 到着後、ホテルへ	-	-	機内
2	2月8日 (金)	ヤンゴン	午前 午後	専用車	オカラツパ日本人墓地、並びに歩兵第四聯隊慰霊碑にて 慰霊祭を実施 ゆっくりとお過ごし下さい	○	○	○
3	2月9日 (土)	ヤンゴン パガン	午前 午後 夕刻	国内線 専用車	空路、パガンへ 着後、タピニュー寺院にて慰霊祭を実施 世界三大仏教遺跡の一つ「パガン遺跡群」観光へご案内 イラワジ川より夕陽をご覧ください	○	○	○
4	2月10日 (日)	パガン マンダレー	午前 午後	国内線 専用車	空路、マンダレーへ 着後、サガインヒルにて慰霊祭を実施 その後、マンダレーヒルにて、来仙された高僧の寺院訪問と再会	○	○	○
5	2月11日 (月)	マンダレー	午前 午後	専用車	寄贈小学校訪問(2校) *子どもたちとの交流の時をお過ごし下さい ・スーザ寄贈小学校 ・臨済宗にて寄贈小学校	○	○	○
6	2月12日 (火)	マンダレー	終日	専用車	マンダレー市内観光 *王宮 *マハムニパゴダ その他、買い物等へご案内	○	○	○
7	2月13日 (水)	マンダレー ヤンゴン ヤンゴン	午前 午後 21:45	国内線 専用車 NH813	空路、ヤンゴンへ ヤンゴン市内観光、並びに買物へご案内 夕食を取った後、空港へ 出国手続き後、空路、帰国の途へ	○	○	○
8	2月14日 (木)	成田空港 成田空港 仙台空港	6:50 10:00 11:00	NH3231	着後、通関 国内線にて、空路仙台へ 到着後、解散 ～お疲れ様でした～			機内

* 上記スケジュールは現地交通事情等により、一部変更が生じる場合があります。

<利用予定ホテル>



ヤンゴン：セトナホテルヤンゴン



パガン：ヘリテイジホテル



マンダレー：ヒルトンホテル

<募集要項>

1) 旅行期間 : 2019年 2月7日(木) ~ 2月14日(木) 8日間

2) 参加費用 : 348,000円 (仙台空港発着)

3) 旅行費用に含まれるもの

- ①航空運賃: 別紙日程に記された区間の航空運賃(エコノミークラス)
- ②宿泊費: 2名1室
- ③食事料金: 日程ご参照
- ④観光料金: 別紙日程に基づく観光交通費、入場料、ガイド料金
- ⑤地上交通費: 空港からホテル間の送迎交通費
- ⑥手荷物運搬料金: お一人様20Kg以内の手荷物運搬料
- ⑦団体行動に基づく税金・サービス料、チップなど

4) 旅行費用に含まれないもの

- ①旅券印紙代: 11,000円(5年有効)、16,000円(10年有効)
- ②個人的費用: 洗濯、電話、飲物代等個人的性格の費用
- ③旅行傷害保険: 任意ですがお勧めいたします。
- ④一人部屋追加代金: 90,000円(6泊)
- ⑤燃油サーチャージ等空港諸税 15,620円 ※発券時のレートによって変動する場合があります。

5) お取消料

出発日の前日より換算して30日以降21日前まで・・・30,000円

出発日の前日より換算して20日以降3日前まで・・・旅行費用の30%

出発日の前日より換算して2日以降前日まで・・・旅行費用の50%

出発日の当日又は無連絡不参加の場合・・・旅行費用の100%

6) 保険加入のおすすめ

(株)ワールドトラベルでは万が一に備えて旅行業法の責任の範囲内で考慮される旅行傷害保険をかけておりますが、お客様個々にとって、旅行をより安心できるものとするため、お客様自身でさらに旅行保険(疾病、傷害、盗難など)に加入されることをお勧めいたします。詳しくは弊社が保険代理店業務を行っておりますのでお気軽にご相談ください。

7) お申し込み方法: お電話でお申し込み下さい

お申し込み、お問い合わせは・・・

観光庁長官登録旅行業第1546号 日本旅行業協会(JATA)正会員

株式会社 ワールドトラベル

〒984-0015

仙台市若林区卸町4丁目3-1

TEL:022-232-8051

FAX:022-232-8085

総合旅行業務取扱管理者: 加藤重雄 担当者: スーザ・ミヨータン